



浜高通信

令和2年4月17日

第1号

ホームページ <http://www.hamakou.ed.jp/>

祝 入学式

4月9日(木)、令和2年度浜田高校入学式が挙行されました。全日制課程 普通科167名、理数科18名、定時制課程22名の計207名が浜田高校の新たな一員として加わりました。



今年の入学式は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入学生・保護者・来賓・教職員のみで行われました。



新任教職員紹介

4月、新たに浜田高校に着任しました15名の先生方に、以下の2点についてアンケートに回答していただきました！

① どんな高校生だったか ② 浜高生の印象・浜高生に一言

熊谷 修山 (くまがい おさま)【校長・国語】

- ① 当時は、『全然勉強していないのに、成績がいい』というのがステータスだったので、みんな家でメッチャ勉強して、学校では「昨日全然勉強せんかった」と言っていました。皆そうだったので、私も“涼しい顔”をする努力をしていました。そして、毎朝乱打してました。(ソフトテニス)
- ② 以前勤務していたときは、浜高生はとにかく“熱い”と言うより、“熱苦しい”と思っていました。13年ぶりに帰ってきて感じたのは、浜高生もちょっと“クール”になったのかな(!?)ということです。もちろん、“熱さ”の片鱗は感じています。

岡田 祐子 (おかだ ゆうこ)【事務長】

- ① 片道4kmを自転車で通っていました。今よりも雪が多くて、命がけで雪道を滑走していたね。アマチュア無線の資格を取り、いろいろな方と話したり吾妻山へ合宿(という名のキャンプ)に行ったことも思い出です。
- ② 皆さんあいさつがきちんとできているという印象です。高校生の3年間は、過ぎてみればあつという間ですが、勉強していると長く感じたものです。大きな目標を持ちつつも、一つ一つ小さな課題をクリアしていくことが大切だと思います。体調には十分気を付けて自分のペースを見つけてください。

勝木 仁美 (かつき ひとみ)【国語】

- ① 恐ろしいほどの緊張感が漂うR(リーダー、今でいうコミュ英のこと)の授業。まさにR一色の1年。英語よりも精神面を鍛えられました。でもこの先生との出会いは一生の宝です。Rの担当の先生がかわり、大好きな世界史に燃えすぎてしまった2年。教科のバランスは大切です。友のありがたみを痛感した3年。進路に悩んでいた時にかけてくれた言葉は、忘れることはありません。私が担任だったら「何やっとなるん」と言いたいくらい、夢見がちな浜高生でした。
- ② 進んで元気よく挨拶ができるといいですね。長い人生の中で振り返った時、浜高での3年間はきっとかけがえのない貴重なものになるはず。自らを高めていきましょう。

家田 康大 (いえだ やすひろ)【地歴公民(日本史)】

- ① 甲子園を目指し、毎日厳しい練習に明け暮れた野球部員でした。3年生最後の夏に目標達成できた事は嬉しく、当時の仲間や先生方とはいつ会っても同じ話題で盛り上がっています。野球部以外の友人も多く、人に恵まれて楽しい高校生活を送る事ができました。
- ② 良い意味での‘浜高らしさ’は時代が変わっても引き継がれているような気がしています。SNSが発達している時代だからこそ、人間力に磨きをかけて、それぞれの夢の実現に向けて頑張してほしい、その手助けが出来ればと思います。

後山 拓朗 (うしろやま たくろう)【地歴公民 (世界史)】

①勉強と部活に取り組んでいましたが、特に勉強では目の前の課題を終わらせることに集中しており、+αの学習ができずうまくいかないことも多かったです。部活では体育館新築にともない、学校のコートで練習することができず、土日はいろいろな場所で練習していました。

②勉強と部活をがんばっている人が多い印象です。高校生のときにしかできないこともあると思いますので果敢にいろんなことに挑戦し、自分の可能性を広げるといいです。自分が立てた目標を達成するために計画的にやっていきましょう。

室北 俊之 (むろきた としゆき)【地歴公民 (世界史)】

①朝、江津駅までチャリでJRと競走。大汗かいて、すし詰めの列車の中に。周りの女子から嫌がられる。クラスのLHRや球技大会、浜高祭にとにかく必死になっていた。そんな感じでした。

②自らの「夢」にこだわって、その実現のために熱くなってほしい。スムーズにいかないときも、安易に妥協したりあきらめたりせず、最後までやり抜いてほしい。そんな浜高生を全力でバックアップしたいと思います。よろしくお願いします。

米原 勝治 (よねはら かつじ)【地歴公民 (地理)】

①自宅から朝練で一日がスタート→学校の部室にて着替え→授業→放課後の部活動→そのまま帰宅。家には制服で帰っていなかったのか。山あり谷ありの毎日でした。今思うと、慢性疲労に睡眠不足。そんな記憶が残っています。

②歴史と伝統は、重厚感溢れる土台の雰囲気からも感じられます。その上にどんな建物ができるのか。「夢」の設計図面を練りながら、一日一日を大切に、チャレンジを続けていきましょう。

岩井 大輔 (いわい だいすけ)【数学】

①通学路に遊ぶ場所も無かったため、ひたすら家と学校を往復していました。高校3年間は好きな数学ばかり勉強していたため、教科バランスが悪くなり辛い受験勉強を強いられることとなりました。学園祭などの学校行事には積極的に参加をし、充実した高校生活を送れました。

②高校生活はあっという間に終わります。「これは頑張ったな」といえるような事を是非実行してほしいと思います。

坂根 大樹 (さかね だいき)【理科 (生物)】

①1年生は部活、2年生は遊び、3年生は勉強(好きな科目のみ)を頑張るといったように、何か一つしか頑張れない学生で、とても要領が悪かったです。そのときは楽しかったですが、今となればもっと色々な思い出を作れたのではないかと少し後悔が残る高校生活でした。

②浜田高校の皆さんは真剣に授業を聞く、まじめな学生だというイメージが今のところあります。自分の将来のために勉強を頑張るのはもちろん大事で、それを基本にしてほしいですが、高校生の時しかできない青春っぽいことをたくさん経験してほしいなと思います。今の自分にも言うことですが、行動しようか考えて迷っている時間があればどんどん行動して経験値を増やしていきましょう！

松川 均 (まつかわ ひとし)【理科 (化学)】

①高校時代はずいぶん昔のことになります。大人しく、人前でしゃべるのはあまり上手ではなかったように思います。高校3年生の時の恩師がご健在で、久しぶりにお会いしたとき言われたことは、「教員になるとは思わなかった」でした。

②言行一致な生徒が多い高校です。主張しているとおりに行動し、口で言うことと行動が一致している生徒が多いように感じます。どんどんトライしてください。

山本 奈菜子 (やまもと ななこ)【理科 (化学)】

①人目を気にして格好つけてしまう高校生だったので、クラスでは勉強にまじめに取り組む物静かな生徒だったと思います。その分、所属していた美術部の趣味の合う友達の前では自由に振る舞ってバランスをとっていました。勉強面で一緒に高め合える仲間、息抜きを共有できる仲間の両方に恵まれ、充実した3年間を過ごせました。

②新学期も始まったばかりで、授業中もお互いに緊張が残っているように感じます。廊下でのあいさつなど、日常生活を通して打ち解け合えればと思います。私が浜校生のみなさんのために何ができるのかを考える日々ですが、自分がチャレンジしてみたいことを見つけたら周囲に発信してください。その手助けも是非させていただきます。

石橋 早苗 (いしばし さなえ)【芸術 (書道)】

①先生方に恵まれ、熱心に指導していただいた割に、なかなか結果の出せない生徒でした。恩師と一緒に勤務することになり、大変心苦しいです。書道で進学したいのに書道部がなかったので、地域の大人の方々と一緒に書道を習っていたのも良い思い出です。先生・友達・書道仲間、今でも大事な人たちとのご縁に恵まれた高校生活でした。

②教員になって初めて過ごした浜田の地に再び戻ってきて、石見のカラッとした明るさを懐かしく感じています。勉強と部活動の両立は大変だと思いますが、何事も考え次第ですので、前向きに捉えて努力してほしいと思っています。そして、ときには本物の芸術に触れて、感性も磨いていってください。

青山 皓輝 (あおやま こうき)【英語】

①青春時代を謳歌していたと言いますか…、高校生時代の自分をありのままに話すと何も皆さんに指導できなくなるのですがとにかく毎日楽しかったです。友だちも、恋愛も、先生との関係も、あ、勉強も…。全てが楽しかったです。楽しもうとしていたからですかね。

②浜高生のことも、浜田のこともまだ分からないことばかりです。これから時間をかけて皆さんのことを知りたいと思っています。一緒に楽しい浜高生活にしましょう。よろしくお願いします。

中島 一雄 (なかしま かずお)【英語】

①今思えば結構世間知らずで生意気だったような気がします。部活動はバレーボール部で体は今の3分の2ぐらいの体積でジャンプ力には自信がありました。勉強については低学年の時の学習内容をきちんと自分のものにしていなかったことが今でも悔やまれます。授業中は集中していたつもりだったのですが…。その後悔をみんなにはしてほしくないという思いで授業をしています。

②初めて「補習科」というところで授業をさせていただきました。他校から来た生徒もいますが、浜高生のエッセンスが詰まった生徒たちだと感じました。残念ながら現役の時には希望の学校に進めなかったものの、3年間部活動、学校行事、学習にしっかり取り組んできた様子が伺えます。彼ら彼女らの姿勢に奮い立つ自分を感じます。1～3年の皆さんがそのような浜高生になるのに少しでも力になろうと思います。

和田 遊馬 (わだ ゆうま)【英語】

①入学したての頃は、ろくに勉強もせず、ただただ調子に乗った高校生でした。それまではそれなりにこなせていましたが、気づいた時には成績も下から数えて賞が取れるようなものに…。これが、思い出せる限り人生最初の挫折かなと思います。いろいろな先生方にお世話になり、クラスの仲間と互いに励まし合いながら、最後には高校生として充実した学校生活を送ることができました。「出会い」に恵まれた3年間だったと強く思います。

②浜高生は本当に energetic だと思います。その energy をうまく使って勉強も部活も全力で頑張ってください。そして、高校生活を全力で楽しんでください。そうすればきっと、10年後、20年後に、「充実した高校生活だった。」と言えるようになると思います。自分の全力がそれでも及ばないときは、誰かを頼ってください。きっと皆さんが、全力な姿を見せていれば、喜んで協力してくれると思います。私も皆さんのために、全力を尽くします！よろしくお願いします！

